



●山門野南方神社

御祭神：建御名方富命、八坂刀売命、火年須比命
由緒：島津家五代目当主の貞久の命により、長島内の社司である、増田家の祖が信州諏訪村より霊宝玉の譲渡を受けて祀られたといわれています。

●天満宮(菅原神社)

御祭神：菅原道真命



●本浦天満宮



●片側天満宮



●薄井天満宮



●鷹巣八幡神社

御祭神：応神天皇、神功天皇
由緒：1576年島津義虎が高羅城やこの地方の守護神として、野田（出水市）の箱崎八幡の分霊を勧請して奉祀したといわれ、島津義虎の銘のある鰐口が寄進されています。若宮神社、愛宕神社、南方神社が合併されています。



●西長島護国神社

御祭神：千城魁雄命（宮内静次）
他325大明神
由緒：1884年、静次の戦功抜群官祭招魂社に列せられる。大正2年官祭西長島招魂社と改称。1939年、官祭西長島護国神社と改称しました。



●伊勢神社

町内に点在する伊勢神社は、昔、伊勢神宮に行くことが至難であるため、町内各地に勧請して崇拝し、そのほとんどは、十五社神社と合併されたといわれています。



●城川内伊勢神社

御祭神：天照皇大神、豊受比売命、菅原道真



●宮ノ浦伊勢神社

御祭神：天照皇大神



●三船伊勢神社

御祭神：天照皇大神、十五社大明神



©DaisukeMochida 2025

長島町郷土史では、十五社神社に鎮座しているのは、長島町では、代々穀倉の神として神前に蔵の鍵を安置して厳重に保管しており、祭祀の厳修を励行したと記されています。

豊受姫命 古事記では、イザナミから生まれた子のワクムスビの子とされ、伊勢神宮の外宮に鎮座しています。伊勢神宮外宮の社伝では、雄略天皇の夢に天照大神が現れ「自分一人では食事が安らかにできないので、丹波国の比治の真奈井にいる御饌の神、豊受姫命を近くに呼び寄せなさい」と言われたので、伊勢神宮の外宮に祀るようになったとされています。

御八日踊りを奉納する 町内の十五社神社

長島は室町時代まで肥後国天草郡に属していたので、十五社神社は、阿蘇の神などを祀っていました。17世紀以降、島津領になってからは、穀物（農業）の神である豊受姫命を祀っています。
十五社神社には、島津領以前、阿蘇十二社と熊野三社の15柱の神を祀ってありました。これは、天草と長島に多く、地域ごとの行事は、これらの神社を中心に行われたといわれています。



●浦底十五社神社



●唐隈十五社神社



●加世堂十五社神社



●小浜十五社神社



●指江十五社神社



●蔵之元十五社神社



●葛輪十五社神社



●平尾十五社神社



●浜渡十五社神社



●田尻十五社神社